株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

証券代行事務センター(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公 告 方 法 電子公告の方法により行います。

ただし、電子公告によることができない事故その 他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済 新聞(東京)に掲載します。

公告掲載URL http://www.taxan.co.jp/ir/index.html/ ※貸借対照表、損益計算書はEDINET (金融商品 取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類 に関する電子開示システム) にて開示しており ます。

[表紙・絵]

岡 義実 Oka Yoshimi

サロン・ドートンヌ会員

1945年 福岡県生まれ

1969年 渡仏、増田 誠に師事

1980年 サロン・ドートンヌ展* (Salon d'Automne)に

おいて、グランプリ受賞 (Grand Prix des Amis

du Salon d'Automne)



《ノルマンディの春》

1972年より小田急百貨店他個展多数

※サロン・ドートンヌ展:毎年秋にパリで行われる国際公募美術展。 1903年にマティス、ルオー、ボナールらの参加によって産声を 上げた100年以上の歴史をもつ美術展。

ホームページのご紹介

当社では、財務諸表をはじめとする株主の皆様向けの各種情報を、ホームページ上でご提供しています。 また、IR情報以外にも、当社、そしてグループ会社の様々な情報を提供しておりますので、ぜひご覧ください。





▲トップページ

▲IR情報

http://www.taxan.co.jp/

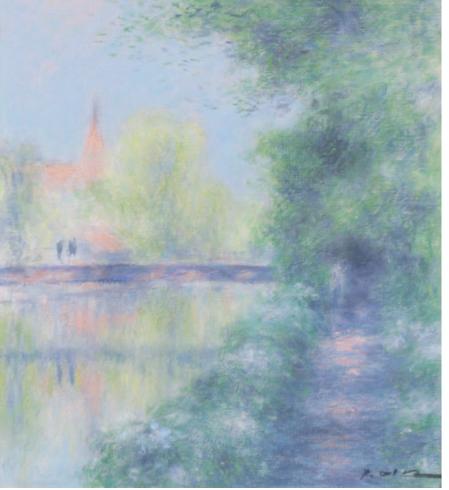
KAGA ELECTRONICS CO.,LTD.

〒113-8503 東京都文京区本郷2丁目2番9号センチュリータワーTEL.03-4455-3111(代) FAX.03-3815-6744 http://www.taxan.co.jp/ 証券コード 8154











東証1部:証券コート8154

岡 義実《ノルマンディの春》

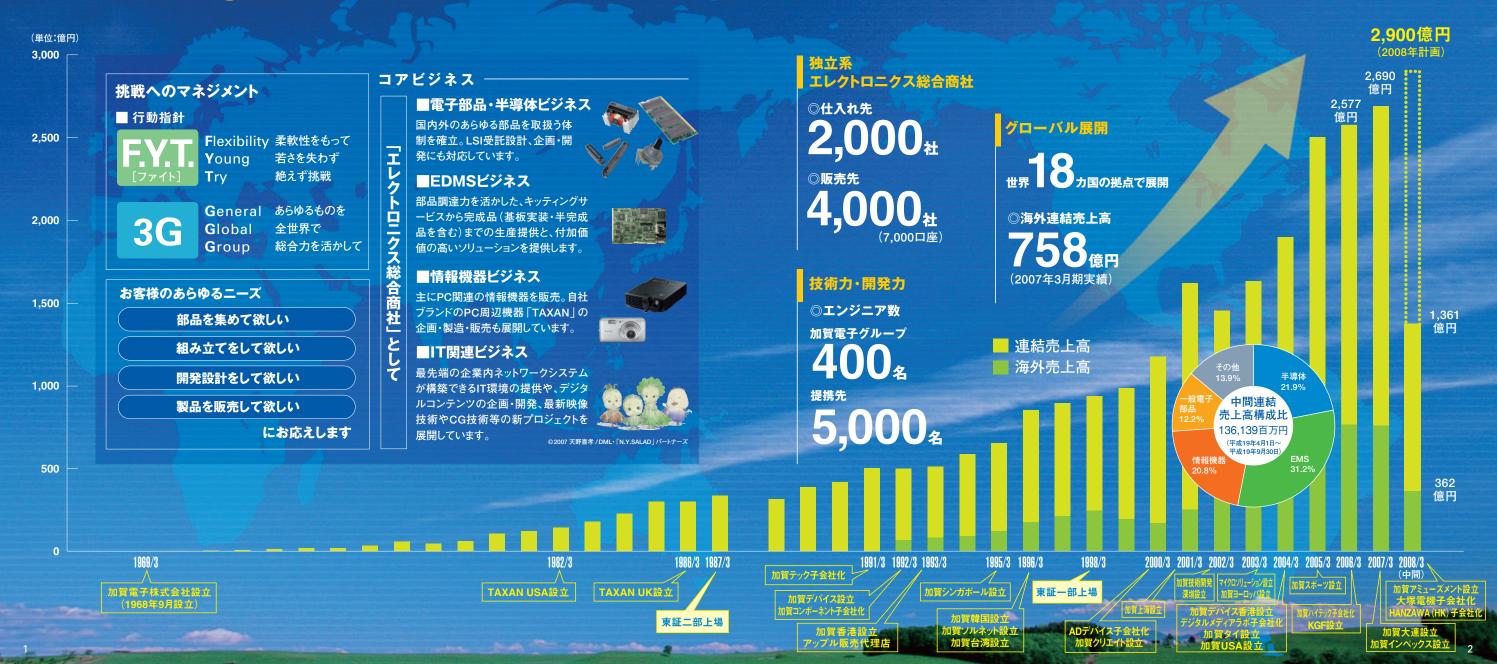
第40期 中間グループ報告書

平成19年4月1日—平成19年9月30日

Kaga Electronics Group Report

加賀電子設立40周年

エレクトロニクス業界の変化とともに、加賀電子グ ループは着実な成長を続けています。 What's KAGA ism





代表取締役社長 塚本 外茂久

○ 当中間期の業績についてお聞かせください。

★ 新しい経営体制の下、ローコストオペレーションによる 効率的事業推進と、時代のニーズを反映した新商品 の開発・供給により売上高は当初計画を上回りました。

社長 本年4月より新経営体制として、私が新社長として業務執行全般を担い、会長はグローバルな新規ビジネス開拓とグループ各社の発展に注力するという役割分担で事業を推進してきました。

その間の当社グループが属するエレクトロニクス業界は、依然として技術の進歩による商品の入れ替わりの激しい状況が続いております。当社の半導体事業において、液晶テレビやデジタルカメラ向けの半導体は依然好調を維持していますが、主力であった携帯電話向けの音源ICについては、メーカーの仕様変更によりソフ

ト音源化へと移行してきており、当社の取扱高も下がってきている状況となっております。しかしながら、同じ携帯電話市場において、新たなニーズも生まれてきています。例えば「ワンセグチューナー」の半導体は当社の新たな主力商品として展開し、いまや大きなビジネスとなりつつあります。

このように時代の変化と技術のニーズを敏感に察知しながら、当社グループは国内・外における総合力を活かした営業活動を推進し、また技術力を強化しながら生産力増強にも努めております。その結果、当中間期は期初の計画に対して、売上高はほぼ計画通り、利益については上回る結果となりました。なお、利益については計画を上回ったとはいえ、前年同期に比べ減益となりました。これは、連結子会社における貸し倒れの可能性のある債権に対し特別損失として貸倒引当金を計上したためであります。

私自身の今後の抱負としては私が直接営業や技術の現場に足を運び、面白い製品情報や可能性を検証しつつビジネス化を具現化させる、同時に若い社員ともコミュニケーションを取って「企業文化」を伝える役割も担っていきたいと考えています。

会長 私は、グループ会社の発展を第一のミッションとして捉え、様々な働きかけを各会社に行ってきました。前期に不振であった「加賀スポーツ(株)」と「加賀ハイテック(株)」については、ローコストオペレーションと販路拡大が功を奏し、当中間期で黒字に転換しました。また、カレーショップなどを運営する「KGF(株)」については、卸売事業を整理し、当面は小売りに専念するという体質改善を行いました。お陰様で小売りの新店舗も非常に好評で次の出店計画も控えており、当期を境に来期には業績が回復するものと予想しています。「加賀コンポーネント

(株)」は、前期からプロジェクタ事業を展開しており先行投資のため現在はまだ効果が表れていませんが、当中間期に中国での生産及び販売会社である「加賀儀器汕頭有限公司」を設立しプロジェクタ事業のグローバル戦略を加速しています。来期以降にこの取り組みが実を結び、またプロジェクタ以外の製品も生産する当社グループの"物づくりの総本山"として機能するものと期待しているところです。また昨年設立しました「加賀インペックス(株)」については、現在、最先端をいくロシアの研究所が持っている新技術を利用したオリジナル製品の企画を構想

中で、来期に成果が表れる ものと期待しています。こ のように当社グループは 世界各国の企業と提携し、 今後もさらに新規事業の 推進に努めてまいります。



▲新規事業の一つ。光源によって、物体がどのようにみえるか、よりリアルな 3D画像で表現する視覚化事業。

🕡 加賀電子グループの優位性ついてお聞かせください。

▲ 半導体・電子部品をメインに、技術力とグローバルネットワークを強みに様々な事業展開をしています。 これからも更なる高付加価値戦略で世界の需要と供給に応えていきます。

会長 すでに申し上げました通り、当社は様々な事業 を積極的に推進していますが、やはり当社の一番の強 みであり原点となるのは半導体を中心とした電子部品 であります。

世界中で部品を調達・販売し、さらには技術力といったバックボーンのもとに企画提案・物づくりも行う、そ



代表取締役会長 塚本 勲

こに最先端の技術情報が付加されて発展し、たくさんの引き合いをいただきながら受注し事業を拡大しています。中国でのプロジェクタ事業を進める「加賀コンポーネント(株)」でも、その技術力を活かして非常に環境負荷の低い液晶テレビ用バックライトの電源を開発中です。これも世に初めて出る画期的な製品になると期待しています。今後は、すでにEU圏では行っている"現地で部品を供給し、現地で販売する"という現地密着の販売方法を中国で展開したいと考えています。その第一歩として中国現地メーカーに液晶テレビ向けの部品組込みボードの供給を始めています。現地の部品を使ったボードを供給し、要の半導体は我々から仕入れてもらうことでさらに取引の拡大を狙っています。

社長 他にも、この春グループ化した「HANZAWA (HK)」のように現地で製品の企画・開発・製造を行い、同社が既に持っていた世界中の



Top Interview

販路を活かし販売していくといった取り組みも始めていま す。また「HANZAWA(HK)」は品質管理のノウハウを 持っていますので、中国で生産されたあらゆる製品・部 品を、ここを経由させることにより、日本のお客様へこ れまで以上の「クオリティーコントロールサービス」を 提供したいと考えています。当社は世界中の需要のある ところを追いかけ生産・販売するだけでなく、これから は現地の部品を現地で販売するといった、次なる戦略を 進めていきます。この動きはヨーロッパで始まりました が、今後は中国やインドでも展開していこうと考えてい ます。

▲ コーポレートガバナンスの徹底とIT活用の情報共有 により、経営の透明性を高めます。また各事業のシ ナジー効果を発揮しつつ、社会貢献や企業価値の向 上にも努めていきます。

社長 当社は今年で40周年を迎えましたが、当中間期 末にはグループ会社数48社、グループ社員数4.852名と いう規模に成長しました。組織が大きくなると、情報の 共有やリスク管理の面で機動性を欠くという弊害が起こ



りがちですが、当社グループでは ITを活用し、コーポレートガバナ ンスの徹底、情報の共有やリスク 管理を行う体制を整えています。 その一つとしてグループ全社の資 金を一元管理できるシステムを導 入し、資金の効率的な活用、健全 かつ透明性の高い財務体質を維持 しています。

▲加賀雷子所属 ト田桃子プロ

トップ・インタビュー



▲HANZAWA (HK) が企画・開発を行う電子知育玩具

会長 また映像コンテンツ事業の一環として始めた NHK教育テレビのアニメーション番組「やさいのよう せい N.Y.SALAD | のDVDソフトやキャラクターグッ ズの販売も始めました。各事業のシナジー効果として、こ れらの商材を昨年国内総販売代理店となった加賀ハイテッ ク(株)の「コダック事業 | の持つDPFショップやホームセ ンター等の販路に乗せて拡販してまいります。そのほか地 域特産品のEC*サイト運営、スポーツや文化事業、芸術活 動への協賛を通じて社会への貢献活動を行うと同時に、認 知度を高め、企業価値の向上に努めていきたいと考えて います。

社長 市場の変化が激しいこの業界では、常に新しいこ とに果敢にチャレンジすること、徹底したマーケティン グのもとで積極的に投資することが必須となります。同 時に、技術力のバックグラウンドを持つグローバルなネッ トワークからもたらされる当社ならではのチャンスを、 確実にビジネス化し飛躍成長させてまいります。

今後とも、皆様にご期待・ご支援いただける高成長・ 高配当企業を目指してまいりますので、引き続きご支援 ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月



「 ファイト・スピリッツ []]

NHK教育テレビで好評放送中アニメーション 「やさいのようせい N.Y.SALAD」 オフィシャルグッズの販売開始

加賀クリエイト(株)は、「やさい のようせい N.Y.SALAD | のオ フィシャルグッズの販売を開始 しました。キャラクターデザイン を手がける天野喜孝氏*による 個性あふれるやさいのようせい 達が、ノートやボールペンなどの ステーショナリーとして登場。加 智電子グループのFCサイトや、 一部のNHKショップ、東急ハン ズなどで販売しています。

※天野 喜孝=画家・イラストレーター・本 の装幀・舞台美術などを手がける世界的 アーティスト。代表作品『ファイナル ファンタジー| 『みつばちハッチ』など。 ©2007 天野喜孝/DML・「N.Y.SALAD | パートナーズ



▲オフィシャルグッズ



中国・汕頭工場でプロジェクタの生産を本格化 「加賀儀器汕頭有限公司」を設立

平成19月、加賀コンポーネント(株)は、 中国・汕頭に加賀儀器汕頭有限公司 を設立しました。プロジェクタ事業の グローバル戦略をさらに加速させるた め、同年7月からは、競争力の高い米 国テキサスインスツルメンツ社の DIP®テクノロジーを搭載したプロ ジェクタ「TAXAN*PSシリーズ | の中 国国内向け製品の製造を本格稼働し ています。今後はレーザーポインタ やスクリーンなど周辺の電子機器や オフィス機器など、トータルでのパッ ケージ販売を行う予定です。





TAXAN Data Projector PS Series

▲プロジェクタ「TAXAN PS シリーズー



▲「加賀儀器汕頭有限公司」

グループシナジーを活かした インターネット通販事業 (ECサイト) を積極的に展開!

加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として培っ てきた豊富な取引先と異業種にまたがるグループ会社間のシ ナジー効果を活かし、サーバーの管理からホームページ制作、 FCショップの運営までインターネット通販事業への取り組み を積極的に展開しています。 ¶ [natura(ナトゥーラ)]

● 「onmo.jp」 超小型ビデオカメラを販売 http://www.onmo.in/ ●「オンラインストアKODAK」 コダック商品を販売

● 「natura (ナトゥーラ)」 アルバカレーなどの食品や「やさいのようせい」グッズを販売 http://www.kgf-taxan.co.jp/natura/

■ TAXAN Direct shop TAXANプロジェクタを中心に販売 http://store.vahoo.co.ip/taxan/

http://www.kagaht.net/kodak/



上田桃子プロ 今季5勝目 史上最年少賞金女王に!

加賀電子所属のプロゴルファー、上田桃子プロ(21)がLPGA ツアー「大王製紙エリエールレディスオープン」で今季5勝目

を挙げ、史上最年少賞金女王を決め ました。

~今季の優勝実績~

平成19年

- 4月 「ライフカードレディスゴルフトーナメント」 (初優勝)
- 6月 「リゾートトラストレディス」
- 7月 「スタンレーレディスゴルフトーナメント」
- 11月 「ミズノクラシック」 「大王製紙エリエールレディスオープン|



[※] EC=Electronic Commerce (エレクトロニックコマース) インターネットなどのネットワークを利用して、消費者を直接対象に電子 商取引サービスを行うサイト。

Financial Highlights

財務ハイライト

連結売上高 • • • • • • • • 136,139百万円(前年同期比7.9%増) **連結経常利益 •••••• 2.887百万円**(前年同期比5.0%減)

連結中間純利益 • • • • • • • 765百万円 (前年同期比53.5%減)

■ 連結売上高 (単位:億円) 通 期 中間期 3,000 2,900.0 2,500 2,000 1,500 1.000 500

第38期 第39期

中間期

146.57 (通期予想)

151.55

第39期

■ 一株当たりの連結中間(当期)純利益

(単位:円)

300

250

200

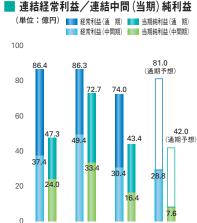
150

100

50

第37期

第38期





ROE(自己資本利益率)は、株主の皆様の投資を活用

した結果どのくらい利益を得たのかを示す指標です。 ROE(%)=当期純利益÷自己資本×100



D/Eレシオ (Debt Equity ratio) は、有利子負債と株主資本

の比で、長期の支払い能力を示す指標です。

D/Eレシオ(倍)=有利子負債÷株主資本

Consolidated Financial Statements

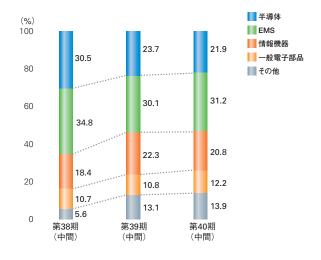
財務諸表 (連結)

| 中間連結損益計算書 | | | (単位:百万円) | | | | | | |
|-------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| | 当中間期 | 前中間期 | 前 期 | | | | | | |
| 科目 | (自平成19年4月1日) 至平成19年9月30日) | (自平成18年4月1日) 至平成18年9月30日) | (自平成18年4月1日) 至平成19年3月31日) | | | | | | |
| | (主干成18年8月30日/ | (主干成10年9月30日/ | (主干成19年3月31日/ | | | | | | |
| 売上高 | 136,139 | 126,183 | 269,014 | | | | | | |
| 売上原価 | 119,310 | 110,653 | 236,214 | | | | | | |
| 売上総利益 | 16,828 | 15,530 | 32,799 | | | | | | |
| 販売費及び一般管理費 | 13,951 | 12,704 | 25,884 | | | | | | |
| 営業利益 | 2,876 | 2,826 | 6,915 | | | | | | |
| 営業外収益 | 482 | 424 | 853 | | | | | | |
| 受取利息 | 136 | 65 | 128 | | | | | | |
| 受取手数料 | 63 | _ | 146 | | | | | | |
| 受取配当金 | 67 | 50 | 71 | | | | | | |
| 有価証券評価益 | _ | 12 | 2 | | | | | | |
| 受取保険料 | 55 | _ | _ | | | | | | |
| その他 | 159 | 296 | 504 | | | | | | |
| 営業外費用 | 471 | 209 | 363 | | | | | | |
| 支払利息 | 60 | 100 | 172 | | | | | | |
| 売上割引 | 2 | 29 | _ | | | | | | |
| 為替差損 | 244 | _ | 13 | | | | | | |
| 出資持分損益 | 36 | 12 | 39 | | | | | | |
| その他 | 128 | 68 | 138 | | | | | | |
| 圣常利益 | 2,887 | 3,040 | 7,404 | | | | | | |
| 寺別利益 | 68 | 78 | 764 | | | | | | |
| 固定資産売却益 | 13 | 5 | 78 | | | | | | |
| 投資有価証券売却益 | 13 | 65 | 150 | | | | | | |
| 役員退職慰労引当金戻入益 | 31 | _ | _ | | | | | | |
| その他 | 10 | 7 | 535 | | | | | | |
| 寺別損失 | 659 | 132 | 759 | | | | | | |
| 固定資産除却損 | 147 | 36 | 150 | | | | | | |
| 投資有価証券評価損 | 20 | 31 | 190 | | | | | | |
| リース解約金 | _ | 40 | 59 | | | | | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 334 | _ | _ | | | | | | |
| その他 | 155 | 24 | 359 | | | | | | |
| 说金等調整前中間(当期)純利益 | 2,297 | 2,987 | 7,410 | | | | | | |
| 去人税、住民税及び事業税 | 1,459 | 1,448 | 3,270 | | | | | | |
| 去人税等調整額 | 131 | △102 | △143 | | | | | | |
| >数株主利益又は少数株主損失(△) | △59 | △4 | △60 | | | | | | |
| 中間(当期)純利益 | 765 | 1,645 | 4,343 | | | | | | |

| (注) | 記載金額単位未満の端数については、 | 切捨ての方法で表示しております。 |
|-----|-------------------|------------------|
| | | |

| 中間連結キャッシュ・ | 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位: 百万円) | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目 | 当中間期 (自平成19年4月1日) 至平成19年9月30日) | 前中間期 (自平成18年4月1日) 至平成18年9月30日) | 前期 (自平成18年4月1日) 至平成19年3月31日) | | | | | | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △655 | △1,979 | △1,120 | | | | | | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △818 | △561 | △2,141 | | | | | | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,034 | △2,951 | △2,586 | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 46 | △1 | 274 | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △394 | △5,494 | △5,573 | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,558 | 20,131 | 20,131 | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 14,164 | 14,637 | 14,558 | | | | | | | |

商品別売上高構成比の推移





中間連結貸借対照表

建設仮勘定

無形固定資産

のれん

その他

その他

資産合計

貸倒引当金

ソフトウェア

投資その他の資産

投資有価証券

繰延税金資産

166

1,884

616

863

405

11,052

7,398

106

4,402

△854

123,714

1,324

705

553

65

10,611

6,503

4,949

△909

115,745

67

1,567

683

706

177

10,896

6,992

4,615

△792

125,812

80

Consolidated Financial Statements

財務諸表 (連結)

| 科目 | 当中間期 (平成19年9月30日現在) | 前中間期 (平成18年9月30日現在) | 前 期 (平成19年3月31日現在) | 科目 | 当中間期 (平成19年9月30日現在) |
|-----------|-------------------------------|------------------------|------------------------------|-----------|-------------------------------|
| 資産の部 | | | | 負債の部 | |
| 流動資産 | 105,644 | 98,597 | 107,853 | 流動負債 | 66,190 |
| 現金及び預金 | 14,174 | 14,649 | 14,568 | 支払手形及び買掛金 | 50,127 |
| 受取手形及び売掛金 | 65,515 | 59,780 | 67,464 | 短期借入金 | 9,823 |
| 有価証券 | 190 | 274 | 263 | 未払法人税等 | 1,252 |
| 棚卸資産 | 20,506 | 19,481 | 19,727 | 役員賞与引当金 | 83 |
| 繰延税金資産 | 419 | 490 | 443 | その他 | 4,903 |
| その他 | 5,359 | 4,108 | 5,637 | 固定負債 | 4,574 |
| 貸倒引当金 | △521 | △187 | △252 | 長期借入金 | 1,370 |
| 固定資産 | 18,070 | 17,148 | 17,959 | 繰延税金負債 | 736 |
| 有形固定資産 | 5,132 | 5,212 | 5,495 | 退職給付引当金 | 1,125 |
| 建物及び構築物 | 1,100 | 1,636 | 1,506 | 役員退職慰労引当金 | 964 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,718 | 1,219 | 1,597 | その他 | 376 |
| 什器備品 | 624 | 435 | 511 | 負債合計 | 70,764 |
| 土地 | 1,521 | 1,921 | 1,871 | 純資産の部 | |

| 科目 | 当中間期 (平成19年9月30日現在) | 前中間期 (平成18年9月30日現在) | 前 期 (平成19年3月31日現在) |
|--------------|-------------------------------|------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 66,190 | 58,387 | 67,059 |
| 支払手形及び買掛金 | 50,127 | 48,217 | 54,217 |
| 短期借入金 | 9,823 | 4,714 | 7,045 |
| 未払法人税等 | 1,252 | 1,489 | 1,831 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 55 | 157 |
| その他 | 4,903 | 3,909 | 3,808 |
| 固定負債 | 4,574 | 6,741 | 5,704 |
| 長期借入金 | 1,370 | 3,437 | 2,378 |
| 繰延税金負債 | 736 | 769 | 702 |
| 退職給付引当金 | 1,125 | 1,029 | 1,075 |
| 役員退職慰労引当金 | 964 | 1,114 | 1,148 |
| その他 | 376 | 390 | 398 |
| 負債合計 | 70,764 | 65,128 | 72,763 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 51,173 | 49,006 | 51,127 |
| 資本金 | 12,133 | 12,133 | 12,133 |
| 資本剰余金 | 13,912 | 13,912 | 13,912 |
| 利益剰余金 | 25,210 | 23,037 | 25,161 |
| 自己株式 | △83 | △76 | △80 |
| 評価・換算差額等 | 1,714 | 1,329 | 1,787 |
| その他有価証券評価差額金 | 624 | 870 | 758 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 1 | △1 |
| 為替換算調整勘定 | 1,090 | 456 | 1,029 |
| 少数株主持分 | 61 | 281 | 134 |
| 純資産合計 | 52,950 | 50,617 | 53,049 |
| 負債・純資産合計 | 123,714 | 115,745 | 125,812 |

(単位:百万円)

| 中間連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円) | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------|--------|--------|------|---------------------------|--|--|--|--|
| 当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) | | | | | | | | | |
| | | | 株主資本 | | ++ → ×× + ∧ ≡⊥ | | | | |
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | | | |
| 平成19年3月31日 残高 | 12,133 | 13,912 | 25,161 | △80 | 51,127 | | | | |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △716 | | △716 | | | | |
| 中間純利益 | | | 765 | | 765 | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | △2 | △2 | | | | |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 | | | | |
| 株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額) | | | | | | | | | |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | - | 0 | 49 | △2 | 46 | | | | |
| 平成19年9月30日 残高 | 12,133 | 13,912 | 25,210 | △83 | 51,173 | | | | |

| | | 評価・換 | 算差額等 | | \\ *\+\+\-\-\+\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\ | ←次 ☆ △ = I |
|-----------------------------|------------------|---------|--------------|----------------|--|-------------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
| 平成19年3月31日 残高 | 758 | △1 | 1,029 | 1,787 | 134 | 53,049 |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △716 |
| 中間純利益 | | | | | | 765 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △2 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額) | △134 | 1 | 60 | △72 | △72 | △145 |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | △134 | 1 | 60 | △72 | △72 | △99 |
| 平成19年9月30日 残高 | 624 | 0 | 1,090 | 1,714 | 61 | 52,950 |

10



Non-Consolidated Financial Statements

| 中間単体損益計算書 | (要旨) | | (単位:百万円) |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 科目 | 当中間期 (自平成19年4月1日) 至平成19年9月30日) | 前中間期 (自平成18年4月1日) 至平成18年9月30日) | 前 期 (自平成18年4月1日) 至平成19年3月31日) |
| 売上高 | 60,169 | 72,355 | 133,878 |
| 売上原価 | 53,835 | 66,262 | 121,499 |
| 売上総利益 | 6,334 | 6,092 | 12,378 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,443 | 4,964 | 8,937 |
| 営業利益 | 1,891 | 1,128 | 3,441 |
| 営業外収益 | 1,235 | 1,163 | 1,439 |
| 営業外費用 | 178 | 137 | 245 |
| 経常利益 | 2,947 | 2,154 | 4,635 |
| 特別利益 | 26 | 2 | 55 |
| 特別損失 | 602 | 50 | 427 |
| 税引前中間 (当期) 純利益 | 2,371 | 2,106 | 4,262 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 827 | 709 | 1,797 |
| 法人税等調整額 | 110 | 43 | △59 |
| 中間(当期)純利益 | 1,433 | 1,353 | 2,525 |

| 中間単体貸借対照表 | (要旨) | | (単位:百万円) |
|--------------|-------------------------------|------------------------|------------------------------|
| 科目 | 当中間期 (平成19年9月30日現在) | 前中間期 (平成18年9月30日現在) | 前 期 (平成19年3月31日現在) |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 66,014 | 65,772 | 68,105 |
| 固定資産 | 19,317 | 17,349 | 18,057 |
| 有形固定資産 | 604 | 686 | 611 |
| 無形固定資産 | 598 | 759 | 554 |
| 投資その他の資産 | 18,113 | 15,904 | 16,891 |
| 資産合計 | 85,331 | 83,122 | 86,163 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 41,279 | 37,788 | 41,464 |
| 固定負債 | 2,486 | 4,762 | 3,558 |
| 負債合計 | 43,766 | 42,550 | 45,022 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 41,141 | 39,831 | 40,426 |
| 資本金 | 12,133 | 12,133 | 12,133 |
| 資本剰余金 | 13,912 | 13,912 | 13,912 |
| 利益剰余金 | 15,178 | 13,862 | 14,461 |
| 自己株式 | △83 | △76 | △80 |
| 評価・換算差額等 | 424 | 739 | 714 |
| その他有価証券評価差額金 | 424 | 737 | 715 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 2 | Δ1 |
| 純資産合計 | 41,565 | 40,571 | 41,140 |
| 負債・純資産合計 | 85,331 | 83,122 | 86,163 |

財務諸表 (単体)

| 中間単体株主資本等 | 等変動計算書 |
|-----------|---------------|
|-----------|---------------|

(単位:百万円)

| 当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------|--------|-------|--------|------------------|--------|---------|--------|------|--------|
| | | | | | 株主資本 | | | | | |
| | | | 資本剰余金 | | | 利益類 | 制余金 | | | 株主資本 |
| | 資本金 | 資本準備 | | 資本剰余金 | 利益準備金 | | 益剰余金 | 利益剰余 | 自己株式 | 合計 |
| | | 金 | 資本剰余金 | 合計 | 小山 <u>一</u> 川田 亚 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | 金合計 | | |
| 平成19年3月31日 残高 | 12,133 | 13,912 | 0 | 13,912 | 618 | 10,460 | 3,382 | 14,461 | △80 | 40,426 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立て | | | | | | 1,200 | △1,200 | _ | | _ |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △716 | △716 | | △716 |
| 中間純利益 | | | | | | | 1,433 | 1,433 | | 1,433 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | △2 | △2 |
| 自己株式の処分 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額) | | | | | | | | | | |
| 中間会計期間中の変動額合計 | _ | _ | 0 | 0 | _ | 1,200 | △482 | 717 | △2 | 714 |
| 平成19年9月30日 残高 | 12,133 | 13,912 | 0 | 13,912 | 618 | 11,660 | 2,899 | 15,178 | △83 | 41,141 |

| | 評値 | 頂等 | | |
|-------------------------------|------------------|-------------|----------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | 純資産合計 |
| 平成19年3月31日 残高 | 715 | △1 | 714 | 41,140 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | |
| 別途積立金の積立て | | | | _ |
| 剰余金の配当 | | | | △716 |
| 中間純利益 | | | | 1,433 |
| 自己株式の取得 | | | | △2 |
| 自己株式の処分 | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額) | △290 | 0 | △289 | △289 |
| 中間会計期間中の変動額合計 | △290 | 0 | △289 | 424 |
| 平成19年9月30日 残高 | 424 | △0 | 424 | 41,565 |

配当金のお知らせ

当社の利益配分に関する基本方針は、長期的 視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努め るとともに、連結業績を鑑みながら株主各位に 対する安定かつ継続的な配当の維持を基本とし ております。なお、内部留保金につきましては、 ますます変化する経済環境や業界動向に機敏に 対応していくための体力強化や新たな事業拡大 に活用していく所存であります。

当中間期の利益配分につきましては、上記基 本方針に基づき、前期期末配当金と同額の1株 当たり、25円00銭とすることに決定いたしま した。

11 12

Group Network

グループ・ネットワーク



電子事業本部

仙台営業所 TEL. 022-722-7410 新潟営業所 TEL. 0258-38-8351 北陸営業所 TEL. 076-262-0711 北関東営業所 TEL. 048-667-3321 立川営業所 TEL. 042-548-9431 新横浜営業所 TEL. 045-473-7321 特販部 第三課 TEL. 045-473-7328 浜松営業所 TEL. 053-457-1661 名古屋営業所 TEL. 052-933-0811 京都営業所 TEL. 075-353-4551 関西営業所 TEL. 06-6364-3911 福岡営業所 TEL. 092-282-1140

TEL. 03-4455-3111

営業推進事業部 販売促進第一部 第三課 TEL. 06-6364-3911

特機事業本部

特機営業部 第二課、第三課 TEL. 052-933-0890 関西営業所 TEL. 06-6364-3391

システムソリューション事業部

関西営業所

TEL. 06-6314-1201

主な国内関係会社

加賀テック(株) TEL. 03-4455-3108 加賀デバイス(株) TEL. 03-4455-3150 加賀ソルネット(株) TEL. 03-4455-3100 TEL. 03-4455-3161 加賀コンポーネント(株) (株)エー・ディーデバイス TEL. 03-4455-3106 加賀クリエイト(株) TEL. 03-4455-3157 マイクロソリューション(株) TEL. 03-4455-3155 (株)デジタル・メディア・ラボ TEL. 03-4455-3103 加賀スポーツ(株) TEL. 03-4455-3172 加賀ハイテック(株) TEL. 03-4455-3188 KGF(株) TEL. 03-4455-3177 加賀インペックス(株) TEL. 03-4455-3181 大塚電機(株) TEL. 044-752-5551 加賀アミューズメント(株) TEL. 03-4455-3182

主な海外関係会社

KAGA (H.K.) ELECTRONICS LTD. KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE. LTD. KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO.,LTD. KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO.,LTD. 加賀電子(上海)有限公司 加賀電子技術開発(深圳)有限公司 KAGA ELECTRONICS (THAILAND) CO.,LTD. KAGA (EUROPE) ELECTRONICS B.V.

本社ビル ■電子事業本部 ■特機事業太部 ■システムソリューション事業部

KAGA DEVICES (H.K.) LTD. KAGA ELECTRONICS (USA) INC. 加賀電子(大連)有限公司 HANZAWA (HK) LTD. 加賀電器(香港)有限公司 広州軽電機有限公司 港加賀電子(深圳)有限公司 KAGA COMPONENTS (MALAYSIA) SDN. BHD. 東莞勁捷電子有限公司 加賀貿易(深圳)有限公司 KAGA IMPEX, LLC 加賀儀器汕頭有限公司 HANZAWA (SZ) LTD. **ELATEC VERTRIEBS GMBH**

Stock Information & Corporate Data

株式の状況/会社概要 (平成19年9月30日現在)

株式の状況

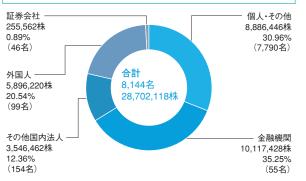
発行可能株式総数 ************************* 80,000,000株 発行済株式総数 ************** 28,702,118株 **単元株式数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100株** 株主数 8.144名

大株主の状況 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 出資比率(%) | |
|---|---------|---------|------|
| 塚本 勲 | 2,492 | 8.68 | |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 1,836 | 6.40 | (注3) |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,258 | 4.38 | |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 1,248 | 4.35 | (注3) |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 1,171 | 4.08 | |
| 株式会社みずほ銀行 | 950 | 3.31 | |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 881 | 3.07 | (注3) |
| 加賀電子従業員持株会 | 542 | 1.89 | |
| 沖電気工業株式会社 | 526 | 1.84 | |
| バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー | 514 | 1.79 | |

- (注) 1. 持株数は千株未満を切捨てて表示しております。
- 2. 出資比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。
- 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社 および資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務によるものであります。

所有者別株式分布



会社概要

立 昭和43年9月12日

金 121億3,354万円

従業員数 563名 (男386名・女177名)

34.6歳(男37.5歳・女28.3歳)

事業の内容 当社は、電子機器用エレクトロニクス部

品の企画、開発、製造、仕入販売、コン ピューターおよび周辺機器・関連部品・付 属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならび に輸出入を主な業務とし、これに付帯する 業務も営んでおります。

役

代表取締役会長 代表取締役社長 専 務 取 締 役